



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamilyロクハ公園HP www.park-698.net/ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

危険な暑さ 思っていたような、いやいやそれ以上の暑さが日本を襲っています。で、当然梅雨明けだと思っているのですがいっこうに梅雨明け報道がありません。東北や秋田は梅雨の末期？の豪雨です

- ①ひめゆりに対して大きさをから鬼。色が赤鬼のイメージで鬼、諸説あるようです。コオニユリもありますがムカゴができないようです。
 ②普段は子どもたちがたくさん遊ぶところ、人気が少ない今日は、春ごろから見られる砂浴び。熱い砂が気持ちよさそうです。
 ③鳥の気配が少ない今の辞意ですがヒヨドリは盛んにエサ探し、暑さからの一はーとする息遣いが聞こえそうです。



①オニユリ



②スズメ



③ヒヨドリ



⑥連休中のプールの様子



④ゴマダラチョウ



⑤ウチワヤンマ

- ④樹液酒場にゴマダラチョウがやってくる盛夏のイメージです。翅をひろげて威嚇しながら、樹液がでるおいしい場所を奪いあいます。
 ⑤ウチワヤンマは梢にとまり、虫が飛び出すのを待っています。暑い日は太陽に向かってこのようなポーズで日が当たる面積を減らします。
 ⑥今日は休場日、連休のプールは朝から超満員。ロクハ公園が一番よく見られる生き物とは聞かれてよくこの景色を思い起こします。

セミの羽化

左の写真 クマゼミの羽化をするために木に登り始めた幼虫を、近所の木で2匹捕まえました。部屋の中に木をセットして観察しました。もっと登りたくてうろろう上がったり下がったり最終的にこの場所がいいと判断して、羽化を始めたのが真ん中の写真 右の写真は翌朝の写真、立派なクマゼミです。5時ごろ外に放ちました。元気に飛んでいきました。ずっと観察したかったのですが寝てしまいました。週末のナイトツアーの事前学習です。ロクハ公園にも羽化殻がいっぱい見られます





ROKHAの自然.COM

ROKHAの自然

facebook「ROKHA見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily

ROKHA公園HP www.park-698.net/

ROKHA公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

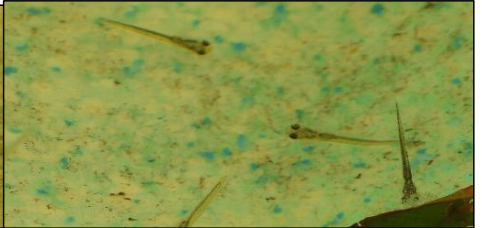
小暑

2023年は7月7日（金）～7月22日（土）です。梅雨が明ける時期です。この後の大暑（たいしょ）を合わせ書中だそうです。多くの災害報道を聞くともう雨はいい、早く梅雨明けをと思いますが、迫りくる暑さにも脅威が。



豊作の予感

左：梅雨にはいいところ無数の花をつけていたクリ、しっかりとクリのイガが見えるようになりました。この枝は成りすぎのように思えます。
中：ギンナンの実びっしり詰まっています。青い実の大きさは秋のギンナンの実と同じくらいになってます。重みで枝が垂れ下がっていました。
右：ミツバアケビいろんな場所でよく見かけます。今年は豊作の年でしょうか。写真の株は毎年大きな実をつけます



飛び石の池に群れで泳ぐ波を見つけました。コイの幼魚です
5/1川原池でコイの産卵していました。浮遊物に卵がついて
いたのをに入れておきました。立派に育っています。同時に水槽
で飼育し始めたものより大きいです。証拠写真です。



アレチノハナガサ

咲き始めて花笠の花が少し少なくなっています

アザミ



綺麗な花で摘もうとすると刺があり取れなかったということから

ニイニゼミは梅雨に見かけるようになると思っています。この日はちがうタイプの抜け殻に出会いました。公園で見かける蝉はニイニゼミ・アブラゼミ・クマゼミ・ツクツクボウシ・ヒグラシ・稀にミンミンゼミです。大きさと形体からアブラゼミでしょう。まもなく梅雨明けのサインです。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

暑かった!!!!!!!!!!!!!! 雨が降れば、災害につながる心配が高まります。梅雨の合間のお天気はどうでしょう。太陽の高度が一番高い時期で日本中沸騰したしています。公園内での観察も暑さ対策をして



7/3

ジャブジャブ小川の飛び石の池で

左：カワセミ 突如のダイビング、狩りは失敗でしたが来てくれていることに喜びました。しばらく主がいません。ここは初心者向けの狩場だと思います。
 中：ハシボソガラスの親子 カラスの幼鳥です、何となく黒いくちばしが黄色く見えます。当然ながらカラスもこんな時期があるんだと実感します。
 右：ムクドリは今の時期が一番多いです。森で子育てをしているようです。水浴びもうるさいぐらいです。動画はfacebookで



樹液酒場にて

樹液酒場の本店級にぎわいでした。常連と数が多いのがカナブンです。カナブン同士のいざこざが絶えません。クワガタは強いのですが、カナブンを追いやるまでに至らず、カナブンのしつこさに手を焼きます。パートナーの食事を確保している場面も多いです。カブトムシはマイペース、カナブンやスズメバチがよってきても、動ぜずです。カブトムシ同士では決闘です。



シヨクヨウガエルのオタマジャクシとウキハゼ



クサガメの産卵、おそらく



アカツメクサ



ウバタマムシ 7/3

玉虫色のヤマトタムシに比べて、「姥」をつけウバタムシ。ヤマトタムシのメス扱いの時期があったとか。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

梅雨真っただなか 今年の雨は。久しぶりに梅雨らしい雨だと思ってます。川原池の水が絶えず満水以上になってます
これから梅雨末期の大雨になっていくと思いますが、



ヨツスジハナカミキリ

アジサイの花の近くで ガクアジサイの花が匂いが漂うほど満開です。その花に必ずよってきます。

上：ハナカミキリの仲間が花粉を食べに来ます。この日は4匹いました。交尾中のものもいました。カミキリムシの怖さが半減する種です
下：コガネムシはアジサイの葉っぱをガシガシ食べてました。クモも何種かいました。アオイトトンボはあたりを飛び交い小さな虫をねらっているみたいです・



コガネムシ



オオシロカネグモ



アオイトトンボ



キノコの観察会のあとで

6/25



6/25に恒例のキノコウォッチングを開催しました観察会の直後は少しキノコ目になり聞いたことを再確認します。少しずつですが学んでいます。



今年はでっかいキノコによく出会いました。雨が多いのでしょうか こちらは思いっきり小さなキノコ枯れ枝に発生してました



サルノコシカケの仲間、カチカチの固いキノコ、裏面は細かい穴がびっしり、ここから胞子が出ます



キノコをもちあげると葉っぱと一緒にくっついてきました。この落ち葉に胞子が着いて菌糸が増えたのがわかります。



ROKUHAの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

明日は夏至 夏至は「夏に至る」とあります。お日様の強さは明日が一番強いのですが暑さはこれからが本番です。お鍋のガスは止めたのになお熱が上がる仕組みがいまいちわかりませんが、冷めていくと思うのですが？



じめじめした時期ですが、あざやかな梅雨時の色があります
ヤマモモの、黄色・オレンジ・赤のグラデーションはドロップのようです。びっしりです。
ノウゼンカズラは夏の盛りを思います。ロクハの緑の中に南国を運んできたような
アガパンサスはを愛と花を意味する言葉だと、この色はお似合いですか。



アジサイの色は変わるというけどリトマス紙のようにはわかりません。

ネムノキの花は色を表せない不思議な色です。細い線状のものはオシベです。



白い花がワルナスビという名をおどろかせます。

私にとっては、この花とネジバナのピンクが夏至の色です。

遠くからでもここにありますがというオレンジ色





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

台風が2週連続で接近 台風が2週連続で同じようなコースを通過していきました。台風の通過した地域は雨風の被害が出ています。はなれているところでも梅雨前線と相まって豪雨被害が出ています。



やっと撮らえたキビタキ

キビタキは今夏鳥として日本にやってきています。今季の第一報は4/21それからいっぱい鳴き声を聞いてきました。多い時は3羽の声を確認しましたが写真記録ができませんでした。だんだん観察対象が虫たちなどに移っていく中で声だけで満足するようになりました。この日は、近くにいる気配がむんむん。鳴きながら動く姿をロックオン。長く撮らせてくれました。ロクハ公園では通過だと思のですが、長い滞在です。次から次へと入れ替わっていくのかもかもしれません。



シジュウカラ 前回この場所で見えた時は親子で来ていました。今日は幼鳥のみ、それにしてもずぶぬれがひどい

カワラビ この場所をよく使います。この日は4羽、一緒に、詳しく見ると成鳥2羽と幼鳥2羽



ロクハ公園にあるのはすべてハナショウブ

いずれ菖蒲(あやめ)か杜若(かきつばた)

ハナショウブ(花菖蒲)とアヤメ(菖蒲)とカキツバタ(杜若)は花がそっくりで混同しやすいです。タイトルはどれもすばらしいという慣用句
 ▶アヤメ・花びらの根元は黄色で、内側に筋が食い込んでいる。(=文目模様)
 ▶カキツバタ・花びらの根元は白色で、模様は入っていない。
 ▶ハナショウブ・花びらの根元は黄色で、その外側に筋が入っている。
 3つの花はアヤメ科の仲間、ショウブはイモ科、菖蒲湯に使う花が咲くショウブとして花菖蒲がなる、アヤメなのにハナショウブと混同し「菖蒲」をアヤメと読ませる花札の菖蒲はアヤメだが本来はカキツバタ。八つ橋がある湿地にはアヤメは咲かないショウブの葉っぱは刃に見立て、尚武や勝負と関連付けられる菖蒲にからむ面白い話がいっぱいです。



ネジバナ



アカメガシワ 雄花

黒いアゲハの幼虫はよく似ていますが、いくつかの特徴から見分けがつかます。鼻角が赤色、背中斜め線が途切れている。おそらくモンキアゲハ



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP www.park-698.net/

ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

梅雨のあいま

今年も、今までにこんなことなかったと言われる雨の量で、各地で災害が発生しています。。ここは大丈夫と思わず備えたいものです。



麦が実るのを「麦秋」と呼びます。さしずめこの写真は、「小判秋」になるか



幻想的な光の演出をするホタルは梅雨の合間。この種はひかりません。



梅雨期の定番の花、アジサイ、土壌によって色が変わる。本当の花はまだつぼみ



」キノコの本体は「菌糸」で土中や枯れ木の中で広がります。直接的に目にすることはあまりありませんし、種によって見分けることも不可能かと思えます。私たちが見るキノコはなかまを遠くに増やすための胞子をまくための「花」です。



いろんなクモがいます。歩き回って狩りをするもの、網を張って獲物を捕らえるもの、他人の（他のクモの）獲物を横取りするもの、一生けんめいです。



幼虫たち



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

梅雨に入りました

季節は同じようにめくってくるといのは平均的な感覚だと思います。しっかりみるとどうしてこんなに違うのだろうと思います。生き物もその変化に付き合います。

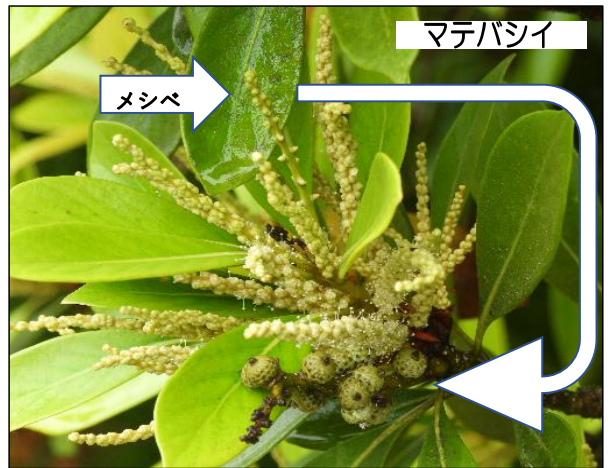
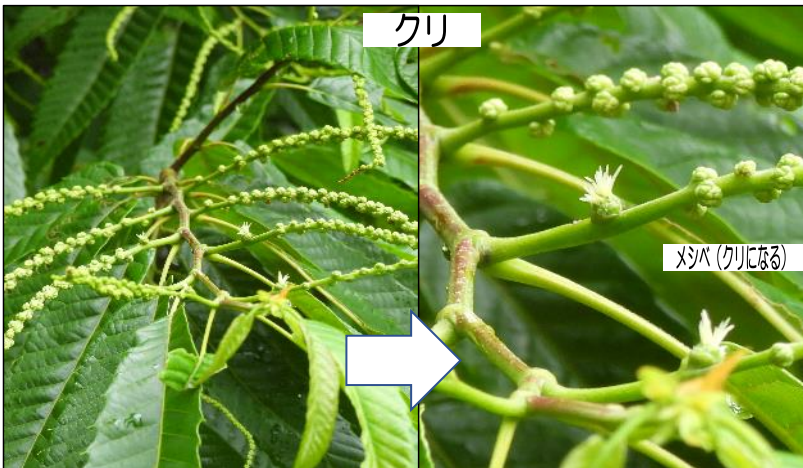


カタツムリとアジサイ

入梅で一日目からしっかり雨が降りました。魚などを飼育している外に置いてある水槽がオーバーフローしてました。

雨上がりで、葉っぱの上の水滴がキラキラ光ってました。梅雨のイラストの代表選手、アジサイとカタツムリ絵にかいたようでした。

クリとマテバシイの花、見つけてみましょう



クリの花が咲き始めています。臭いで分かります。房状の花がたっぶりついて、そのあとどっさり落ちる白い花のほとんどはオシベ。メシバは枝に2・3個、花の房の枝近くに出てきます。クリのいがを感じさせるものが出ています

マテバシイの花もクリと同じような臭いがします。枝の先に花の枝をつけます。その中に一本か2本が実になるめしべの枝、その年には実はできず今年立派な実をつけます。下のほうに写っているのが今年のメシバの枝



20



2



4

ナミテントウの星の数

マテバシイの花を観察していたら、次々とナミテントウムシに出会いました。ナミテントウの星の数は色々あるので。無紋から20以上、黒地の赤い斑紋タイプまで、200種以上が確認されているようです。テントウムシの名前の多くが、星の数によるものですが、ナミテントウは別格です。肉食なので益虫扱いかな？



ヒメジョオン (姫女苑)

ハルジオン (春紫苑) からヒメジョオン (姫女苑) に変わりました。名前の雰囲気似ていて、姿も似ていて、どっちがどっちだったかと悩むことが多いです。これから寒くなるまでヒメジョオンです



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

もう夏かと思ったら、寒い日に 2日前はアイスクリームがおいしく、アイスコーヒーを狩ってきたのに今日は寒さを感じる日でした。虫たちも驚いていただろう。動きが全く違う。



気持ちのいい新緑の緑が肌寒く感じました。田植えが終わったら寒さを感じる日はいらぬなと思います。

葛の葉っぱが出そろうとこの虫に出会うような気がします。この日もそろそろいるのではと思い探すと結構早く2匹出会いました。寒くて動きが鈍そうでした。



剪定した樹木や草木を処理する場所があります。広場のような場所で作業がしやすいようににも植わっていません。そこに生え始め成長を見ている樹でした。成長が速く、いつの間にか邪魔になるような感じです。今年初めて花を見たとします。



新緑が生えるようになると、竹藪の枯れの進行がはっきりしてきました。100年に一度の現象を見えています。

昨年末の竹の花の様子



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

雨上がりの公園

2週連続で日曜日に雨が降り、野外観察イベントに影響が出ました。今回の記録はその翌日に入りました。5/16の記録です



ブタナ

黄色い花が咲き誇っています。一見タンポポに見えますが明らかに背丈が大きいです。タンポポのロゼット同じような葉が地面をはうようについています。フランスの属名が「豚のサラダ」でそこからついた和名です。入ってきた当時はタンポポモドキの称があったようです。



オキソケイク

観賞目的で海外から持ち込まれたものですが、その繁殖力が強く、特定外来生物として栽培・譲渡・販売などが禁止され、駆除が呼びかけられています



スイレン

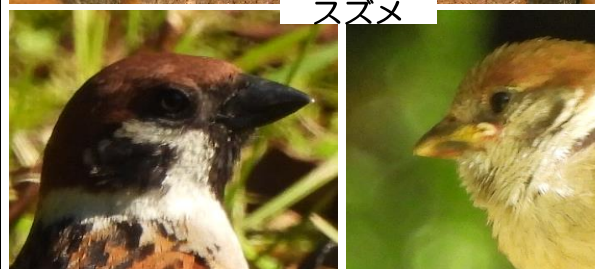
蓮の花はまだまだ先ですが、スイレンはもう花をつけていました。ハスは開花すると花を閉じることはありませんが、スイレンは閉じて半開きのつぼみようになります。その様子が「睡蓮」の名になりました。日が陰る午後になると閉じるように思います。昼寝のようなものでしょうか。



スズメ



みずみずしい苔とキノコ



スズメの子育てが一斉に最終段階のようです。たどたどしい飛び方と親にエサをねだる声が強めに聞こえます。ロクがひな鳥であることを語っています。



雨上がり苔が生き生きと見えました。左側は苔のじゅうたんの中から単独で頭を出すキノコ。右側は花が咲いているようです。ここから胞子を飛ばすのでしょうか。苔のマクロの世界はきれいで、水分を補給するとめきめき変わるさまは神秘的です。苔ブームはこの魅力がけん引しているのだと思います。左ヨコの写真には絶句です。素晴らしい景色を荒らすのでなくひとり占めしているものです

盗掘現場